


たんほほ



NO.27
H1.9.9.
一発行一
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

県庁にて

理事長 田中 稔

先日、スプリングラー設置の為の補助金交付申請書の書き方の指導を受けに県庁福祉課へ行きました。その際、指導を受けている私の目の前で他の職員が同僚と声高に会話されているのが耳に入ってきました。私が三気の里の理事長である事を知らずに話しておられた様です。「三気の里は入所予定者の枠をあくまで空けたままにしておくという事ですたいね。」この会話は出先の福祉事務所からの入所問い合わせの電話に出られた後に口にされたものの様です。

用件が終わった後、身分を名乗ってその方と少し話をしました。県としては、厚生省に対して空きのある施設がいつまでもある事では困るという事でしょう。私達が意志として方針として空けたままにしているわけではありません。希望があればいつでもどなたにも門を開けています。三気の里は自閉症者を中心とした施設ではありませんが、一般の精神遅滞の方も受け入れています。現在お預かりしている自閉症の方は他の施設で適応の難しかった横綱級と言われた人達も集まっています。それだけに療育の困難さがありますが、スタッフ一同懸命に力を合わせて頑張ってくれています。これからの力の及ぶ限りお預かりします。動く重症児とも言われる自閉症児者に対し現在の更生法による職員数だけで対応するのは困難な場面が多くあります。将来、何等かの行政的処置が望まれます。

三気の里にせっかく紹介されても保護者から断られる事があります。それは、私達はこういう療育をやりたい、こういう施設を目指しています等とお話しをしますがこれらの考え方には同意出来ないという事でしょう。

それから自閉症というのが分かっておられない紹介もあります。性格障害やうつ病等です。

三気の里の内容についての各福祉事務所の窓口での説明の中にも誤ったものがあります。先日も市の窓口で説明を受けたという方が見学に來られ「ここは、毎週帰すそうです」と言われます。私達は月に一度保護者会を行い、家庭や社会との絆を保つ為に保護者が元気で状況が許す時、帰宅させたいと考えているのです。

これらの各所で話される誤った先入観等が開所以来2年半になろうとしている現在、尚存在するという事は私達の各所、各人への対応のまずさや努力不足に原因があ

ります。一方、私が話をした県の職員は毎日新聞に連載された「のん気、こん気、元気」の記事を手を持っておられました。自分の目で見て、考えて自閉症について、三気の里についてかかわって頂きたいと思っています。三気の里はいつでもお待ちしております。

療育シリーズ

判定

園長 土井尚典

療育手帳にA₁A₂B₁B₂という判定が記載されている。A₁は最重度、A₂は重度、B₁は中度等の意味である。どのようにして決めるかと言うと、知的能力や適応力をして、どれ位手助けがいるかで判定される。何を基準に知的能力や適応力等を測るかという、平均的な人普通の人を基準にして、どれ位の能力かを決めるのである。話は変わるが、学校の通知表に5段階評価というのがあるが、3が普通で4が良い5が非常に良い、2が悪い、1が非常に悪いということに

なっている。A₁・A₂は1に相当しB₁B₂は2に相当すると考えると良い。学校の成績は強張すると1が2や3に、3が4や5になることがある。本人や周りの人が努力して成績をあげることが可能である。一方、障害児(者)の能力は本人や周りの人が努力して向上していくかというかなり疑問がある。

療育手帳のいう判定は、その人との持つ器そのものを判定している要素が強くA₁の人がBや普通になることはめつたにない。自閉性障害者を療育していく上で自閉性が治ればAの人がBや普通の人になるということや1の成績が2や3になると錯覚してしまうことがある。自閉性はその人のもつ器そのものを差していると考えべきである。

療育手帳の判定は便宜的な判定であり、それをもってその人の生涯の能力を決めつけてしまうのは大変な間違いであることは確かであるが、それぞれのもつ能力即ち

器は生涯を通じて余りかわらないと考えざるを得ない。

むしろ、もって生まれた能力いっぱいには伸ばす方法を考えた方がよりよいと考える。A₂であればA₁いっぱいには伸ばすことを考えた方が良いと思う。

自閉性の強さについては判定技術はあるが、自閉性は発達によって改善していくプロセスがあるのかはまだ良くわかっていない。精神薄弱者の重度者の発達、中度者の発達等は判定技術がある。同じようなものが自閉性障害にあてはまるのかはよくわからない。

最近の研究では鳴門大学の中塚教授が「認知と言語の障害を一次障害とし、社会的障害を二次的とするルターの研究に対し、社会性障害が先に出現する」としている。この事から推察すると乳幼児期の母親の養育態度は普通児の何倍もの手厚い養育態度が必要だった訳である。カナが母親の養育態度を誤解したのも説明がつく。この

ように發達のプロセスによって指導療育の手順と技術ががらりと変わってくる。判定は人をきめつける要素もあるが、療育の手順と技術の応用には必要である。更にきめ細かな判定技術が發達することを望んでやまない。

夏祭り



実行委員長 坂井省英
色々な方々にご協力を頂いた「夏まつり」は、8月4日の夜、無事に終わりました。まずはお礼申し上げます。

今回、3回目の夏まつり、例年帰宅と重なるため、縮小しようとして一日(一晚)だけの計画と致しました。第1回実行委員会は、6月20日、のんびりやろうなどと掛声

をかけておりましたが、実行委員会を重ねるごとに白熱し、全体を盆踊りにしようと思ったのは、一月を切ったところで、各係は次第に忙しく打ち合わせを繰り返しました。前日の夜は遅くまで準備にかかっておりました。

いよいよ当日、普段「心臓に毛が生えているのでは」と言われた私も、殆ど眠れず緊張の朝を迎えたのでした。私はただ夜まで準備の進行を眺めていただけなのですが、全く落ち着かず、事務所の中をウロウロしておりました。

サンバおてもやんでスタート、進行が予定より早く、私はスケジュールにとらめっこ、まつりが半ばに差し掛かったところでようやく緊張もほぐれ、後は楽しむ余裕もありました。豪華な花火でフィナーレ、皆楽しい一晚を過ごすことが出来ました。ボランティアの皆さん、とても楽しい夏まつりにすることが出来ました。来年もよろしくお願ひします。

ザ・おてもやん
夏、真つ盛りの8月4日、三気の里の夏祭りが行われることになりました。

今年のテーマ曲を何にしようか考えている時、ある職員から「おてもやん!」との声がありました。その一言で、今年のテーマ曲は「おてもやん」に決定。話は盛り上がり、司会者の私を「おてもやん」にしてしまおうと言いつつ始末。

当日は、食事も喉を通らない程緊張していました。気合を入れ、みんなの前に出ていったのは良かったけれど、待ちかまえていたのは大きな笑い声でした。誰ですか、「はまり役だ!」と言ってお腹かかえて笑っていたのは? でも、みんなが笑うのもわかる様な気がします。浴衣の裾をめくり上げ、頬かむりに、どピンクの頬紅、おまけにサザエさんの様な口だったのですから・・・。

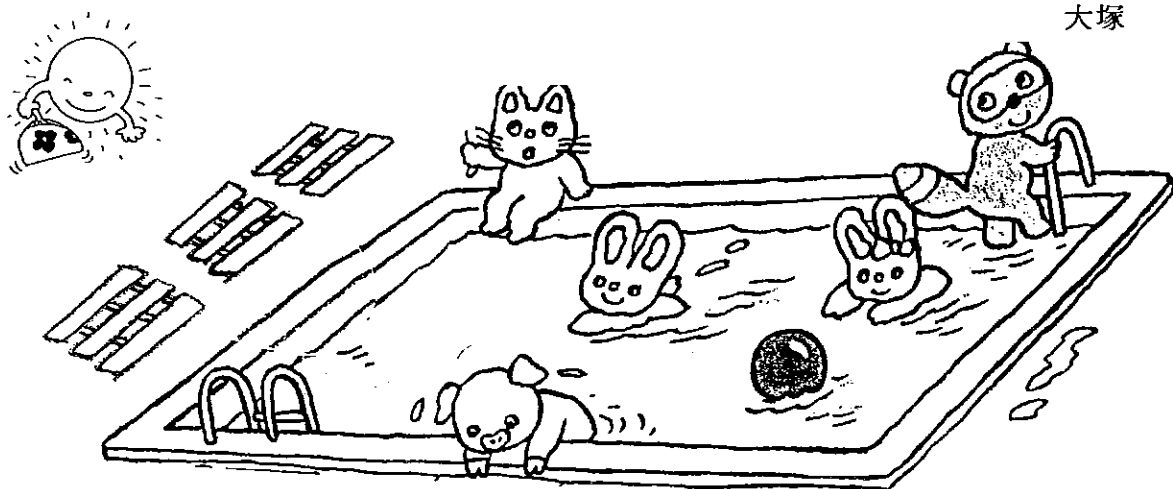
みんなの「サンバおてもやん」も、なかなかのものでした。毎朝

3班・ザ・すのこ

3班…お母さん方からは…「3班、本当にお金儲けが下手なんだから」「やることはやってるのにねえー。お嬢さん育ちなんだから…」と3班はいつも“貧乏風”に吹かれ「いつかは売れる」と自分達を信じ、“お金”には無頓着なメンバーを鍛えること丸2年。8月1日、「ふっ」と気付くと作業台の上に“すのこ”が5枚、出来上がっていたのでした。次の日も一日5枚出来ました。見学に来られた方が買って下さいました。8月5日の帰宅日には、飛ぶように売れました。注文も来ました。長年、つかえて出そうで出なかったものが溢れ出すような感覚。丸太→すのこ→お金。そして→アイスクリーム。またバリバリ頑張ろうね。

PS 一番安心したのは園長。設備投資したから当然の事だそうです。

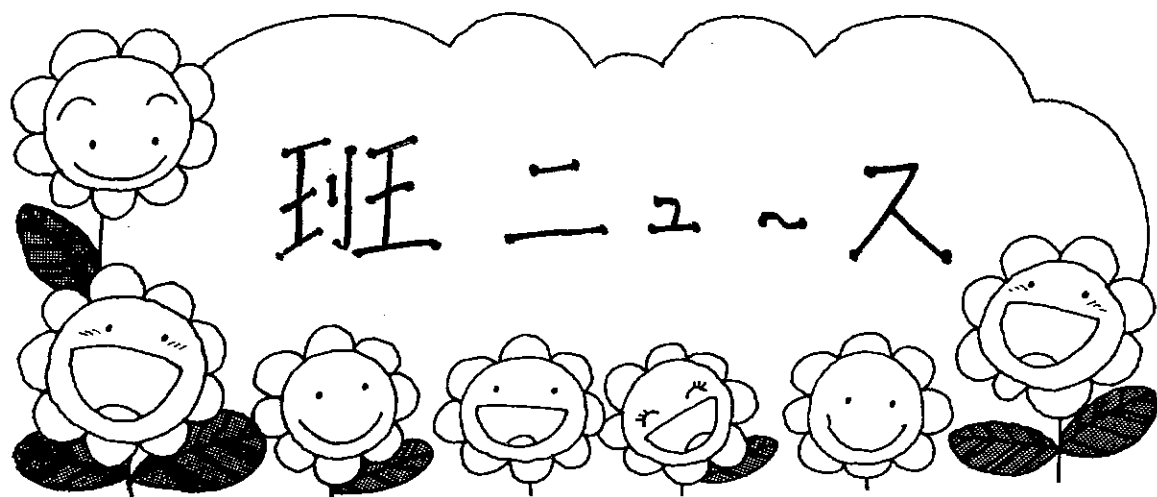
大塚



4班・夏はここから…

「暑い暑い!」と、職員も園生もブータレながら作業に明け暮れていたこの夏、8月には班レクが無いことなどかまいもせず、もっぱら職員が行きたがっているという声を無視して、8月2日に菊陽寿屋のアスパプールへ泳ぎに行きました。みんなで体操をした後、いざプールへ。プールへ落とされても「アーリャン。」と笑っている松枝君、流水プールを楽しそうに歩きながら周囲のゴミ箱の位置を直して廻る陽治君、水は冷たいのにみんな元気で楽しそうでした。が何と言っても今回の一等賞は、ウォータースライダーの途中で止まってしまう「先生ー!」と叫び声を上げ、上下からの声援の中、無事生還した橋村君、あなたです。ちなみに悲惨で賞は、職員はおろか園生にまで沈められて水を飲み、よそのお母さんに「かわいそうー!」とまで言わせたV0参加の伊石さんでした。暑い中、毎日頑張ってるからたまには良いよね。夏休みの後でもまた頑張って作業して色々な所へ行こうねー!

東



1 班・こちらは三気の探検隊

7月27日(木)は、1班のレクリエーションで宇土の轟水源に行きました。現地に着いてまずは腹ごしらえ、お弁当をたிரらげた後しばらく休憩していたのですが、カンカン照りの中では東屋の屋根の下でも暑く、もう我慢できないと水源の中へと飛び込んで行ったのでした。水面をバシャバシャとたたいて楽しむはじめ君、水鉄砲でガンガン水を飛ばすマコト君、石の上を身軽に飛びはねるたいちゃん、他の所へ探索に行くみっちゃんとかっちゃん、木の下でみんなの様子を見ている潔君、たけちゃん、水鉄砲を楽しんでいたりえちゃん、おやつが気になったのかおやつを食べるまでは水の中に入らなかったのりちゃん、上から水鉄砲で水をとばしていたただちゃん、何ととっても今回一番楽しんでいたのは職員だった様です。

武藤



2 班・とうもろこしの収穫の日

8月5日、夏休み前の最後の仕事は、2班はとうもろこし取りで幕を閉じました。4月にみんなで堆肥をまき、種を植え、早く大きくなれと暑い中水まきをしたのは、昨日のこの様。少しずつ大きくなる度に、草とりをしたり追肥をしたり、また土をかぶせたり。きついねーと言いながら頑張った甲斐あって、大きな台風が来て、木が倒れたりしたのにもかかわらず、2班のとうもろこしはしっかり土に根をおろしていました。さて、収穫したとうもろこしの売れ行きはというと、玄関に並べるとすぐに完売。もっと欲しいと言って下さるお母さんもいて、畑にもう一度とうもろこしを取りに行ったりと大繁盛でした。よし、また来年も頑張ってとうもろこしを植えるぞー。

橋本

(3頁から)

ビデオをみながらの練習で、「おてもやんサンバならまかせて」と言わんばかりにのりまくってしまいました。今だに曲がかかると、体が動いてしまうという人がいるのではないですか？

さあ、来年はどんな夏祭りになるでしょう。

次の司会はあなたです。

かくごはいいかな？

清田

研修旅行

旅に出会いはつきものである。

見知らぬ人と話をする―夢を語り合う―崩れかかった土塀の影からひょっこりと、草木が顔を覗かせている光景に出会う…。

旅の醍醐味は、『出会い』につきるといっても過言ではあるまい。今回の旅も又、深い『出会い』のこもったものであった。

私達（伊石・武藤・清田・坂本信）の旅は、夏も盛りの8月9日水曜日、目指すは東京へと始まる

のであった。

その日の夕刻、「家の裏山と言ったら富士山のことなんだよね」と、得意気に話す栗本さんのいる御殿場コロニーに着く。あいにくの霧で富士山は見えなかったが、さすがに風は冷たい。ここには見学がてら泊めてもらったのだが、案内をして頂いたこの栗本さんという方は、霧囲気がうちの園の坂井主任とにいて、ひどく懐かしかった。

コロニーは家族ホーム制で、一家族丸ごと園生の人達と解け合っているというのもおもしろかった。

次の日は、神奈川にあるふきのとう舎を見学した。ダンデリヨンという、園で造られ、園生の人達が働いている喫茶店にも行ったが、その苦労話など、ゆりの木ホーム（アパートを借り切ったグループホーム制をとってあるところ）の一室で、夜遅くまで熱心に語ってくれた指導員の方がいた。話は未来へと限りない可能性をテーマに

広がっていった。

そして早朝、昨夜夕食を共にした、ゆりの木ホームの住人である園生のうちの二人がやって来て、一人が目玉焼きを作り、もう一人がコーヒーを出してくれ、私達で野菜を出し、食卓を囲んだ和やかな風景は昨夜の話と共に私の中で、忘れ得ぬものとして残るだろう…。

次の施設、松下園では盛大な夏祭りを見ることが出来た。地域の住人の方もたくさん来られていた。ここでもまた、色々な人との出会いがあった。

―人々との出会い―それが今回の研修のテーマであったような気がする。

ちょうど、今から百年以上も前に諸国を旅したという松陰先生の“遊歴”に、それは近いものであったのかもしれない。（坂本の）





バレーボール 大会

8月7日、施設職員のバレーボール大会が県立総合体育館で行われました。三気の里の職員は、この日の為に、毎週月曜日に大津南小学校で特訓に特訓を重ね、これだけ練習すれば負けるはずがないと、勝手に思い込み当日の本番を迎えました。初戦の相手は、高森寮、戦う前の意気込みはどこへやら、皆緊張で浮足立ちなかなか点が取れません。第一戦は、応援団も何もしないまま簡単に敗れてしまいました。これではいけないと、三十路会の坂井、東、田辺、岩本、太田黒が第二戦のゆたか学園を相手に、年令を感じさせない俊敏な動きで、サーブにレシーブに大活躍。セットカウント2対1で勝利を収め、応援も負けじと全館の注目を浴びる程派手に騒ぎ、初戦の敗退などなかったかの様に、意気揚々と会場を後にしたのでした。

田辺

ただいま

食堂営業中

今となつては、ある夏の暑い日の出来事ですが……。何やら厨房の花の5人衆が、おにぎり、オニギリとブツブツ言いながら、以前より思い詰めた様に目付きも鋭く（ちよっとオーバー）一人90個というプレッシャーに耐えつつ頑張っている様子。そう、今日は夏祭り、みんなが楽しみにしていた日。5色おにぎり、空揚げと、夏祭りを盛り上げようと汗だくです。そこへ“御免下さい”と厨房の裏よりチャイムまで鳴らして英ちゃんが。一同啞然、思わずおにぎりを握る手を休めてしまいました。再々の訪問で力づけられ？見事彩り鮮やかなおにぎりが出来上がりました。又、厨房の歴史のページが書き加えられたのです。その夜は、サンバおてもやんのリズムも楽しく、模擬店、花火と夏の夜も過ぎて行きました。今となつても、あの日

のおにぎりは、厨房5人の語り草。大変だったネー。
帆保

ハグ
ハグ



新職員紹介

事務長 末永博美

9月1日より『三気の里』で勤めるようになりました、末永と申します。家族は妻と子供2人の4人家族です。私は、流通業に携わってきて、福祉関係は皆無に等しい者ですが、理事長又、園長より多くの指導を受け、「まとめると」のん気、根気、元気の合言葉で業務に専念して下さいというような意味でした。私の仕事は事務管理ですが、園生とお友だちになれるようにがんばります。ヨロシク！



9月の行事予定

1(金)	11(月)	21(木)1班レク 動作法 誕生会
2(土)	12(火)	22(金)
3(日)	13(水)	23(土)シーツ交換
4(月)	14(木)2班レク 動作法	24(日)
5(火)	15(金) 防災訓練	25(月)
6(水)体重測定	16(土)	26(火)
7(木)動作法	17(日)	27(水)
8(金)4班レク(キャンプ)	18(月)	28(木)3班レク 動作法
9(土)↓ 帰宅訓練日	19(火)	29(金) 大掃除
職員会議、シーツ交換	20(水)	30(土)
10(日)		

後援協会だより

平成元年度後援会会員紹介

白浜哲也

五島建夫

尾田正幸

塚本謙二

富田祐子

坂口耕一

魚谷秀文

藤原サヨ

坂本 裕

東田昌子

林田崇宏

伊藤元信

大塚幸伸

村上ますよ

岩本裕美

岩本商二

赤坂政紀

吉良美智夫

市川かよ子

中野怜子

阪口俊一

古閑孝俊

井手上公一

吉田俊一

門岡蓉子

渡辺俊子

9月1日付け

※敬称略

後援会は、年会費三千元以上で

毎月機関誌「たんぼぼ」をお送り

しています。入会ご希望の方は、

三気の里の多田までご連絡下さい。

また、現在会員の皆様で御意見

等がありましたらお便りをお寄せ

下さい。

バスハイク

年に1度、全員で外出するバスハイク。今年も「阿蘇憩いの村」へ出掛けます。皆さんも一緒に、のどかな秋の1日を過ごしてみませんか？

・10月19日(木) 9時～5時

・ボランティア募集人員 10名

・連絡先 29318100

武藤・東・平川まで

ボランティア

苜蓿佳木

やろろう会

9月日程

7日(木)福田・松枝・林・田中

9日(土)石崎・岡崎・坂本・安部

10日(日)牛島

14日(木)金森・井口・橋村・田中

21日(木)村神・満塩・清田・田中

28日(木)藤崎・桜木・元田・田中

編集後記

新車「こんき号」が登場！

秋の風を感じに

LET'S DRIVE 淨